

【目的】

あどてギすの境
でイシル成術環
点コ用ネ生技「
題ラ利工を造た
問チく光ス製き
のやまはガ素て
上体う藻素水め
用緑を藍水た進
利葉一やてしが
がらギ菌し用構。
さ自ル細解利機い
薄はネ成分を究た
希物工合を力研し
の生光光物能術告
所成陽、合の技報
が、合太ち化物業に
る。光なう機生産的
ある。薄の有微境括
でい、希物はな環総
大てげ成しよ地球に
膨れ上合ものと中
はさり光水こ省を
量識作な。産」
体認をうてる通造
全く官よいきて製
はよ器の用でい素
光はなこ接がつ水
陽とう。直とに型
太こよるをこ発和
るのい一る開調

[illegible]

エ細研究よ
ジ成研の 400
ロ合にも
プ光心た大る。
造（中い最す
製スを用。介
素セ発をる紹
水口開一いを
記プスバて例
上成セイいの
、合ロァ置か
在光プフをつ
現と造光点く
〕理製、重い
発処素くにど
開前水低ブな
ムるるはイー
テよよ格タタ
スにに価形ク
シどせの変ア
となわ素のリ
一菌合水そ型
タ細み。や外
ク性組る型屋
ア氣のい板の
リ嫌とて平模
オ（）めな規
イはる進純ル
バでよを単ト
光トに発もッ
〔ク菌開りリ

本研究の多くは新エネルギー産業技術開発機構の委託による地球環境の産業技術研究機構の「環境調和型水素製造」の共同研究によるものである。今回多くの共同研究者名を省略した。

三宅淳、浅田泰男 (1993) 生物工学会誌、71、431-433.

Asada, Y. (1998) *In* Inui, T. *et al.*, (ed.). *Adv. in Chemical Conversions for Mitigating Carbon Dioxide*. 114, 321-326. Elsevir Science B. V. Amsterdam.

BioHydrogen – Present and future of environmentally-acceptable technology for energy production

○Yasuo Asada and Jun Miyake (NIBH and NAIR/AIST/MITI)

【Key words】 hydrogen, hydrogenase, cyanobacteria, photosynthetic bacteria, photobioreactor